

# 特別講義「SDGsのスイーツの商品開発について」

## 生活デザイン科3年生食生活コース

令和6年9月10日(火)に、生活デザイン科3年生食生活コースの生徒を対象に、名古屋文理大学の先生からSDGsから考える食の未来についての講義と、スイーツを事例に、食の商品開発についてご指導いただきました。SDGsの視点を意識した商品開発の大切さについて、学びを深めることができました。

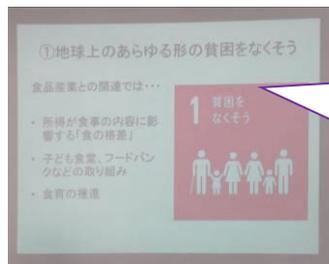


【 講義の様子 】

### SDGs

S : 持続可能な D : 開発 Gs : 目標

国連持続可能な開発サミットにおいて採択された17の持続可能な目標。食品産業界においてもこの17の目標との関連性がある。

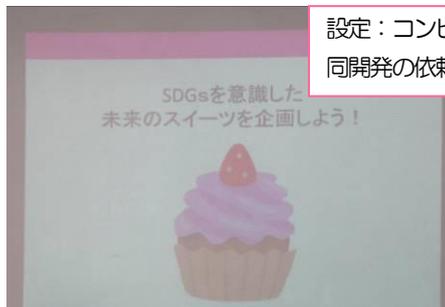


例【1 貧困をなくそう】から見える課題

- 所得が食事の内容に影響「食の格差」
- 子ども食堂の現状
- 食育推進の必要性



【食育ピクトグラムについて  
の説明 農林水産省資料より】



【SDGsのスイーツの商品の提案】

設定：コンビニエンスストアからSDGsをテーマにしたスイーツの共同開発の依頼を受けました。どんなスイーツを提案するか、考えよう！



「共食」を意識して分け合えるスイーツがいいね。



日本の食文化を継承できる和菓子はどうか？



### 学んだこと 感想

- 消費者の声を大切に、商品開発につなげるといいと思った。
- 地産地消の商品考案がSDGsになることが分かった。
- 食文化の継承もSDGsの目標達成に関わることを知った。
- パケツプリンの発想は、みんなで食べることができるという視点から孤食改善や楽しさにつながることでSDGsに当てはまるということを知り、納得した。
- 一つのスイーツに複数の食材を用いることで、たくさんの満足感を得ることができ、いくつかのSDGsの目標達成につながられることが理解できた。